

現代ならではの電気火災から文化財を守る二つの技術。

近年、建物火災は減少傾向にあるものの、その原因別では電気火災の比率が上昇しており、予防対策の重要性が高まっています。特に歴史的建造物は、老朽化した電気設備や点検が難しい配線など、電気火災のリスクを抱えているため注意が必要です。

日東工業は目視では確認できない壁面内部の異常を検出し、火花放電を瞬時に発見することで、火災発生を事前に阻止することを目指しています。

事例
09

浄土寺

浄土堂 (国宝)



薬師堂 (重要文化財)



木造阿弥陀如来及両脇侍立像 (国宝)



宝持院

現代ならではの電気火災から文化財を守る二つの技術。

浄土寺は奈良の東大寺の勸進僧重源上人が鎌倉時代初期に建立した寺院です。国宝の浄土堂と重要文化財の薬師堂は東大寺南大門などと同じく大仏様の建築技術を取り入れており、当時の特異な建築様式を伝える数少ない遺構として、日本建築史上重要な位置を占めています。本尊の国宝木造阿弥陀如来及両脇侍立像もまた仏師快慶の作として著名であり、当寺に関する文化財はこのほか多数にのぼります。こうした貴重な遺産を電気火災から守ることを目的として、**地震時に電気の供給を自動的に遮断する「感震ブレーカー」と火花放電を検出する「放電検出ユニット(スパーテクト)」**を設置しました。



宝持院に設置

DATA

浄土寺 兵庫県小野市浄谷町2094 [2024年1月設置]

【設置機器】 ● 放電検出ユニット(スパーテクト)×1台 ● 感震ブレーカー×1台

【設置場所】 宝持院(塔頭)

業界初

放電検出ユニット(スパークテクト)+感震ブレーカーで
電気火災を未然に防止。

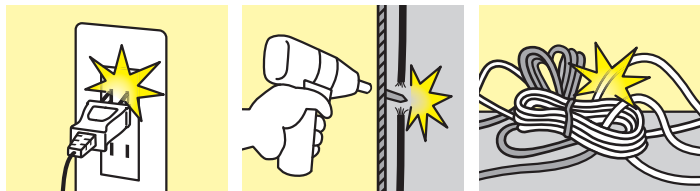
施設の“安全・安心”がさらにレベルアップ!

火花

電気火災の
約4割は火花が原因

些細な原因で起きる火花放電

経年劣化、過度のケーブルストレスによる配線周りでの
電気火災が多発しています。



トラッキング

ケーブルの破損

コードのねじれ・劣化

放電検出ユニット

家屋内の火花放電を検出してお知らせ

コンセントだけでなく、家屋内の配線をまるごと監視します。



Spartect
スパークテクト

動画でチェック!

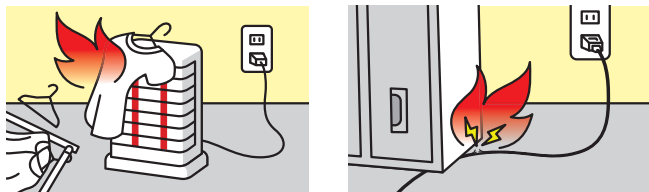


電気
火災

地震火災の
約6割は電気が原因

電気復旧時の通電火災が怖い

地震による停電の後、電気が復旧し、スイッチが入ったままの電気機器に
再び電気が通ることで、火災が起きる危険性があります。



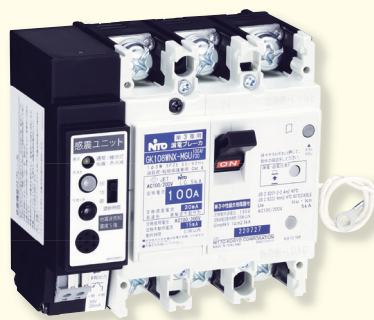
復電後、電気機器に落下した
可燃物から発火。

電源コードの被覆が破れて、
短絡(ショート)により発火。

感震ブレーカー

地震の揺れを感知し、ブレーカを自動でOFF

不在時や、ブレーカを切って避難する余裕のない場合にも安心です。



動画でチェック!



災害はいつ起きるかわかりません。
放電検出ユニットと感震ブレーカーを
セットで備えると、安心も2倍だね!



日東工業
イメージキャラクター
「ソーライオン」

2024年12月発行

●本書からの無断転載は固くお断りいたします。 ●仕様などお断りなしに変更する場合がありますのでご了承ください。
●本製品の故障や瑕疵により、弊社の予見の有無を問わず生じた二次損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。
●その他記載されている会社名、製品名、システム名などは、各社の商標または登録商標です。

NITO 日東工業株式会社

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
TEL(0561)62-3111(大代)
お客様相談センター/TEL(0561)64-0152
工場/瀬戸・菊川・掛川・磐田・中津川・唐津・花巻・栃木野木

K-566 5210024 NT
OM10LCC22